

はつこうがにえんじはり



題字 中西悠真 (中西悠真) さん



〒030-0132 青森県青森市大字横内字桜峰63番地1号
お問い合わせ: TEL 017-738-2104
FAX 017-738-2116



八甲学園 園長 三浦 善行

昨年度に引き続き、令和五年度においても園長を務めさせていたことになりました。昨年度もコロナ禍の中、利用者の皆さん、利用者のご家族の皆様、関係者の方々、地域の皆様、そして職員達に支えられ、当園を運営することができましたことに深く感謝とお礼を申し上げます。今年度も精一杯尽力いたしますので、何卒よろしくお願い申し上げます。

当園は、今年度においても、障害児施設入所事業、生活介護事業、相談支援事業、就労継続支援B型事業、共同生活援助(グループホーム)事業の、入所、通所合わせて5事業を運営いたしております。5事業で入所者・利用者の方々の合計約百名で、合計約八十名の職員で運営している大所帯の障害児者総合施設となっております。事業は多岐に渡り、所帯も大きいですが、入所者・利用者の方々に対しては、これまで以上に、職員一同精一杯支援にあたっていく所存です。

さて、日本を含む世界中が新型コロナウイルスの脅威に脅かされる「コロナ禍」と呼ばれる世の中になり、丸三年以上が経過し、話す方も聞く方も「コロナの話ばかり」という状況から、この3月にはマスクの着用が個人の判断となり、5月8日からは感染症法上の分類が第二类相当から第五類へと引き下げとなり、今後、社会は急速にコ

ナ感染対策緩和の世相となっていくと思われま。ワクチン複数回接種も進んでおり、この三年間で沈滞した社会経済的には大変喜ばしいことだと思えます。しかし、本質的に、ウイルスは依然として存在し、決してその感染力が弱まっているわけでも無く、感染後の重症化リスクやクラスター発生の脅威も続いています。そのような意味では、医療業界や大きな基礎疾患をお持ちの方が非常に多い利用者者を支援している我々福祉施設にとっては、「むしろこれからが非常に難しく厳しい局面」になると考えています。全国的あるいは県内の感染者数の増減動向に左右されず、感染防止及び感染拡大防止には継続して細心の注意を払っていくため、職員、入所者・利用者の方々に、検温・体調確認、マスク着用、消毒・除菌はもとより、感染リスクの多い行事の中止や規模縮小、外来者来園・ご家族等面会時の細心の注意等々、入所者・利用者、ご家族の方々にはまだまだ大変なご不便をおかけすることもあり、ご理解、ご協力をいただいておりますことをこの書面をもって深く感謝申し上げます。今後も感染予防徹底を第一に考え、残念ながらこの先も感染リスクのある行事の規模縮小、個別に通所のお休みや体調観察をお願いするなど、不便を伴う運営が不可避となりますが、引き続き感染予防のため、何卒ご理解、ご協力をお願い申し上げます。

最後になりましたが、大変手前味噌で恐縮ですが、当園職員は、皆、大変優秀で、熱意に溢れ、何より365日二十四時間昼夜を問わず一生懸命に入所者・利用者の方々の支援にあたっておりますので、引き続き今年度一年間、ぜひ当園と当園職員を信頼していただきたく、よろしくお申し込み申し上げますとともに、今年度一年間も、当園の運営には変わらぬご支援、ご協力を重ねてお願いいたします。園長としての挨拶とさせていただきます。

相談支援事業所あおば

相談支援事業所は、障害者や障害児等が障害福祉サービスや障害児通所支援(児童発達支援や放課後等デイサービス等)を利用する前に、サービス等利用計画を作成し、一定期間ごとにモニタリングを行う等の支援や障害者等の福祉に関する全般の問題につき、ご本人様やご家族の方々からの相談に応じ、必要な情報(障害福祉サービス等)の提供及び助言を行っています。相談支援事業所あおばでは、ご本人様やご家族の方々のニーズを的確にキャッチし、安心して地域で生活していくために、ご本人、ご家族、関係機関の皆様のご協力を得ながら、相談支援の業務を行っています。引き続き、相談あおばのチームワークを生かし、ご本人、ご家族が安心できるような対応を心掛け、相談支援業務を行ってまいります。令和5年度もよろしくお願いたします。



八甲学園 人事異動

退職者	専任当直員	和山 泰賢
総務課	副主任看護師	花田 俊子
地域支援第二課	調理員	山内 裕美子
転出者新所属	支援員	大澤 美樹子
安生園	支援員	
新採用者	看護師	成田 陽子
総務課	支援員	横山 祐輔
地域支援第二課	支援員	
資格・昇任者	主任支援員	齋藤 智恵美
こども支援課	副主任支援員	佐々木 健介
こども支援課	副主任支援員	相内 尚実
地域支援第一課	主任支援員	松井 明希
地域支援第二課	主任支援員	

横内町会合同清掃



GW最終日の5月7日(日)に行われました横内町内会清掃活動には、八甲学園通所利用者の皆さんと職員約27名の参加となりました。前日の雨は上がりましたが、風の冷たい中利用者皆さんは地域の方々と一緒に頑張って頑張りました。自然豊かな横内町内を守っていくよう今後も協力していきたいと思っております。



苦情解決

令和5年度苦情申出状況
・サービスの質や量(食事内容、サービス提供に関する不満) . . . 0件
・利用者の人間関係など . . . 0件
・職員の対応(態度、言葉遣い等) . . . 0件
・その他 . . . 0件
合計 . . . 0件

令和5年度5月までの苦情解決申し出は0件でした。
利用者の皆さまから寄せられた苦情については、適切な対応により、その解決にあたります。
苦情及びその解決については、個人の情報にするものや申込者が拒否した場合を除き公表し、八甲学園の改善に努めます。

編集後記

令和5年度第1回目の広報誌を発行することができました。
今年度も利用者のニーズに応じたサービスを展開していきたいと考えています。今後ともご協力のほどよろしくお願いたします。
今回の題字は、中西悠真さんにお願しました。

※掲載されている写真はすべて、ご本人・保護者様の了解を得ております。



八甲学園 HPIはこちら



こども支援課



支援員 加賀谷 勇気

令和5年3月、1名の児童が成人施設へ巣立ち、新年度は9名の入所児童と共にスタートしました。新学期を迎えて、児童達は毎朝はりきって学校へ通い、新しい環境に慣れつつあります。また、5月に新規入所児童が加わり、10名の入所児童と共に、それぞれのカラーを出し、毎日明るく元気に活動しています。5月に弘前方面に外出し、動物を見たり、食事もしました。令和5年度も様々な学園行事や、地域にお住まいの方々に触れ合える行事に参加するなど、楽しい思い出をたくさんつくれるよう、また、一人ひとりが着実に成長していけるような一年になるよう職員一同取り組みますので宜しくお願いします。



プロバスケットボール選手 マックス・ヒサタケさん来園

こども支援課 加賀谷 勇気

令和5年2月16日に、プロバスケットボール選手のマックス・ヒサタケさんが来園されました。児童達の為に選んでいただいた皆さんのプレゼントを、児童一人ひとりに手渡ししていただき、英語と日本語を交えて会話をしたりと、ちょっとした国際交流の場になりました。いただいたプレゼントにサインをもらい、「一生の宝物にする」と心から喜んでいる様子でした。



さすがプロバスケットボールプレイヤーと感じさせる高身長だったため、児童達と並んだ時には、職員も含め圧倒させられました。児童達にとって外国の方と触れ合う機会は少ないため、貴重で楽しい時間を過ごせたと思います。予定時間を超えて、児童達からのサイン攻めにも快く応えていただき、ありがとうございました。

共同生活援助事業所 サンハウス

地域支援第二課 支援員 工藤 文子

共同生活援助事業所サンハウス(定員53名)は現在、一軒家タイプ8棟とアパートタイプ2棟の計10棟のグループホームで、52名の利用者が共同生活をしています。社会の一員として自立した生活を送ることができるよう世話人や生活支援員等が情報を共有し、利用者の主体性を尊重しながら、食事提供・金銭管理・健康管理・生活支援等を行っています。



型コロナウイルスも規制緩和されてきており、昨年度まで自粛ムードだったものが、各地ではお祭りなど実施方向で動いています。それに伴い利用者の会「はっぴい」の活動も検討しております。しかし、いろいろな面で難しいこともあり、すべにとはいきませんが活動できるようになれば良いなど、職員一同願っております。

利用者の皆さんが、地域の中で安心・安全な生活を送ることができるよう、精一杯サポートしていきますので、今年度もよろしくお願いたします。

生活介護事業所はっこう



地域支援第一課 副主任支援員 櫻庭 奈津美

平成30年度にスタートした当事業所も6年目に突入しました。昨年度のエリア拡大に伴い、新規の利用者さんが増え、更に今春、高校を卒業された方も利用開始となり、毎日賑やかに活動しております。

生活介護はっこうでは利用者さんが自立的に活動出来るように環境設定等をし、それぞれの利用者さんに合わせて、軽作業や運動、余暇等の活動やコミュニケーション支援を行っています。また、毎月のレクリエーションでは音楽やゲーム、調理、創作等、個別の活動のみではなく小集団での活動も取り入れ、利用者さんに楽しんでいただけるようにスタッフが趣向を凝らしながら実施しています。

5月の連休明けから新型コロナウイルス感染症が5類に引き下げられたため、外出活動やアニマルセラピーも順次再開する予定となっております。感染予防は徹底して継続しながら、園外での活動の機会も増やしていきたいと考えています。また、不定期ではありますが、今年度も開所日を予定しております。こちらも参加される利用者さんが楽しめる内容を企画していきたいと思っております。

今年度も笑顔が絶えない安心安全な事業所を目指し、様々な活動を提供しながら利用者の皆様に寄り添った支援を行うよう、スタッフ一同、邁進して参りますので、今年度もどうぞよろしくお願いたします。



就労継続支援B型事業所はっこう



地域支援第二課 支援員 久保田 寛人

就労継続支援B型事業所はっこう(定員20名)は、障害を持つ方に福祉的就労の場を提供し、働くために必要な知識や能力を身につけられるよう支援しています。

作業班は、リサイクル班、請負・農産班、シヨップ班があり、リサイクル班では、回収してきた空き缶・ペットボトル・古紙を分別・加工等を行っており、請負・農産班では、清掃や受託作業(公園管理等)、八甲学園内の畑で野菜の生産を行っています。また、シヨップ班では県民福祉プラザ2階「こだわりの店つぼみ」でのランチ提供や、県内福祉事業所で製造されたお菓子や手芸品等の受託販売も行っていきます。

各作業配置は、利用者の皆さんの希望や適性に基づいて、一人ひとりに合った作業を設定しており、意欲を持って安心して参加出来ることを大切に、支援しています。

交流や余暇的な活動においても、利用者の皆さんに楽しんで頂けるよう、収穫祭、忘年会、慰労会等や、土日のレク開所日等、様々な行事も計画しています。今年度もどうぞよろしくお願いたします。

